

Doc. No.: NR080229-3

2008年2月29日

画像情報処理機器と電子機器事業を統合し、新たなカンパニーを発足 ～技術の融合によるシナジー効果で、さまざまな産業分野に挑む～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：橋本 正博)は、2008年4月1日付でメディアテクノロジーカンパニーと電子機器カンパニーの2つの社内カンパニーを統合。新たに「メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー」を新設します。

近年産業界では、IT化の進展や市場のボーダーレス化傾向が強まり、分野の枠を超えた技術開発が活発になっています。

新たに誕生するカンパニーでは、このような環境変化に対応するため、世界トップシェアを誇るCTPや急速に進化するインクジェット印刷機など、メディアテクノロジーカンパニーが長年培ってきた画像情報処理技術と、プリント配線板検査装置を中心とした電子機器カンパニーの精密検査技術や露光技術を融合。CTP(画像情報処理機器)、POD(プリント・オン・デマンド)、PE(電子機器)の3つの事業部を設け、開発・製造における効率化を推進します。そして、事業分野の拡大に加え、印刷技術の電子機器への応用など、今後成長が見込まれる産業分野への本格的な進出を視野に入れた積極的な展開を図ります。

当社は、今回のカンパニー統合のシナジー効果によって市場競争力の一層の強化を図り、事業の拡大発展を目指します。

<新カンパニーの概要>

名 称 : メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー
(Media And Precision Technology Company)

設 立 日 : 2008年4月1日

カンパニー社長・副社長:

社長 藤澤 恭平

副社長 江島 剛(電子機器事業担当)

副社長 薄井 義博(画像情報処理機器事業担当)

副社長 鶴谷 佳憲(POD事業担当)

主要事業 : 画像情報処理機器(印刷・製版関連機器およびソフトウェア、デジタル印刷機およびソフトウェア)
電子機器(プリント配線板製造装置、露光装置、検査・測定装置)